



妻西中キャラ めにしちゃん

学び磨き鍛える

正しい判断力とたくましい実践力を
もった妻沼西中生を育む学校

発行 熊谷市立妻沼西中学校
電話 048(588)1361
FAX 048(589)0496
令和8年5月25日
第5号

『妻沼西中学校の校庭物語』

校長 清水 利浩



現在の妻沼西中学校の校庭

地域の皆さんとお話の中に、本校の校庭についての話題がよく出ます。体育祭を機に、64年の歴史をもつ本校の開校当時の校庭の様子をまとめてみました。

「運動場は、桑園を開墾しただけのフカフカ状態でしたので、学年ごとに隊列行進を組んで足で踏み固めました。」(2回生の先輩)

「西中の校庭は、私たちの足で造りました。体育の時間、よく校外マラソンに出かけました。(おそらくまだ西中が未完成で、妻沼中、太田中、

男沼中に分かれて勉強していたのだと思います)。目的は、西中の校庭づくりです。入学当時、西中の校舎(校庭)は影も形もなく、畑の中に広々とした草原があるだけでした。その畑の中をマラソン。草原の中を校庭予定地までくると『校庭になるんだ。よく踏みしめろ!』の号令一下、一斉に足踏みがはじまります。黙々と根気強く踏みしめます。雑草も何もかも、思いを込めて踏み締めます。何度かこんなことを繰り返し、足の裏を通して、新しい校舎・校庭・友人に対する期待がふくらみました。」(3回生の先輩)。

「校庭は畑そのまま、草も生えていました。体育の時間やちょっとした空き時間には、行き帰りはマラソンで、西中学校の校庭整備によく出かけました。横一列に並んで、校庭(畑)を踏みしめていきます。間をあけず、小刻みに踏みしめます。『みんなで運動場を造ろう!』と意気込んでいました。そんなことを何回も積み重ねて、やっと校庭らしいというより、畑ではなくなりました。」(3回生の先輩)

私(20回生)の頃は、整備された校庭でした。サッカー部の私は、校庭整備のために、自分たちでトンボをつくるようにと先生からご指導いただき、仲間と材木屋さんに行き、木製のトンボを作りました。練習の後はずっと、このトンボをつかって校庭を整地しました。

このように妻沼西中の校庭には、さまざまなエピソードがあります。明日の体育祭、本校の先輩方の思いにも感じながら、本校の校庭で思いっきり頑張ってください。そして、ぜひお家の方や地域の方々と機会をみつけてこのことを話題にしてみてください。

<参考文献> ・「妻沼西中学校 創立三十周年記念誌」平成6年 ・「妻沼西中学校 創立50周年記念誌」平成25年